

## はじめに

第 19 回地域がん登録全国協議会（JACR）臨時総会ならびに学術集会を、平成 22 年 10 月 15 日（金）に横浜市の赤レンガ倉庫で開催いたしました。本年度は第 32 回国際がん登録協議会（IACR）学術総会に引き続き行いました関係で、例年とは異なった開催になり、皆様にいろいろとご不便をおかけするのではないかと案じておりましたが、多くの方々のご支援をいただき無事に開催できましたことを感謝いたしております。

先に述べましたように、平成 22 年 10 月 12-14 日に行われました IACR の学術総会に合わせて開催した関係で、JACR の学術集会のテーマを IACR と同じ「がん登録と社会との調和」として開催させていただきました。国内外から 152 名のご参加があり、活気のある会となりました。

午前中はポスター（学術発表 19 題、登録室紹介 26 題）でのご発表をいただき、総会開催の後、午後からは公開講座を開催し、地域がん登録の周知と理解を深めていただくための講演会を行いました。この公開講座では、神奈川県保健福祉局保健医療部長の中沢明紀先生、国際がん登録協議会理事長ブレンダ・K・エドワーズ先生にご挨拶をいただき、引き続きエドワーズ先生、大阪府立成人病センターの大島明先生を座長にむかえ、国際がん研究機関がん情報部部長のデビッド・フォアマン先生から「世界におけるがんのモニタリングとがん対策計画」、韓国国立がんセンターがん登録・生物統計学部門部門長のソヒー・パク先生から「韓国におけるがんのモニタリングとがん対策計画」、国立台湾大学公衆衛生学院予防医学研究所教授のメイシュ・ライ先生から「台湾におけるがんのモニタリングとがん対策計画」のご講演をいただきました。休憩を挟み、パク先生および地域がん登録全国協議会理事長津熊秀明先生の座長により、国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報・統計部部長の祖父江友孝先生から「積極的なモニタリングから有効ながん対策へー日本の実例よりー」のご講演をいただき、そして最後に私の方から「神奈川県のがん登録」について報告させていただきました。

公開講座、学術ポスターの内容に関しましては本モノグラフをお読みいただければ、十二分にご理解していただけるものと思っています。恒例のポスターアワードでは、学術ポスターから 2 組、大阪樟蔭女子大学学芸学部の鈴木朋子さんによる「地域がん登録資料に基づく研究成果の普及のための教育ツール開発」、大阪大学大学院医学系研究科の歌田真衣さんによる「長崎県がん登録に基づく 2 種類の IM 比に関する検討」、また、登録室紹介ポスターからは 1 組「群馬県地域がん登録室」が選ばれました。それぞれ、新しい試みが評価の対象となりました。

本年度は、例年の学術集会とは異なった形で実施して参りましたが、多くの方々のご参加やポスター発表をいただき心より感謝いたしております。私個人といたしましては、10 年前に第 9 回 JACR の総会・学術集会をお引き受けし、今回の第 19 回が 2 回目の開催でございましたが、ご承知のように第 32 回 IACR の学術集会と合わせての開催でございましたので、準備段階から講師の依頼・連絡や交渉、抄録の作成などの細かい事務局作業はすべて協議会事務局職員にお願いいたしました次第です。スタッフの皆さまのご協力があったからこそ無事に学術集会を開催できましたこと、心よりお礼を申し上げます。

最後に、第 19 回の学術集会と本モノグラフが今後のわが国の地域がん登録の新たな礎になることを切に願っています。そのためには皆様に本モノグラフをご活用していただくことであろうと思っています。皆様、本当にありがとうございます。

（岡本 直幸）